

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA

いわき経済同友会

IWAKI

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

1月号 / 2016年1月1日発行

1 2月通常例会 第2回臨時総会

統合型観光リゾートについての意見交換会（ワーキンググループ）

場所 いわき建設会館 12月14日(月)19:20~



安島代表幹事挨拶

いよいよ今年もおしせまり、お蔭様で皆様のご協力により一つ一つ実行できました。

来年度は30周年という1つの節目でもあり、新生「いわき経済同友会」としたいと思えます。30周年事業にも若い方々の意見を入れ、過去の良い所は残し、新たな同友会からの発信というかたちにしたいと思えます。来年度へ向け、今後の30年を見据えての勉強会も開いていきたいと思えますので、事業についてのご意見等をいただければと思えます。

また前回の公開例会におきましては、多数のご参加をいただきありがとうございました。

代表幹事挨拶後、直ちに臨時総会に入りました。

(詳細は4ページ)

誕生日プレゼント シクラメンが贈られました



左から 安島代表幹事

須藤新太郎さん(12月28日生)、小野秀典さん(12月18日生)

IR(統合型リゾート)とは?

～民主導による観光開発・地域開発の一つの手法～

施設 コンベンション・国際会議施設・宿泊施設・エンターテイメント
ショッピングモール・博物館・美術館・スポーツ施設・カジノ
(民設民営を前提とする複合的かつ一体化した集客・観光施設)

当地区にとっての必要性

原子力災害を受けた当地域にとって30年から40年の街づくりを考えたとき、スピード感をもった街づくり構想が必要!(待っているだけでは街の発展が無い、行動が大事)風評被害(農業・水産業・観光)を払しょくする為にも、街の早期自立が必要。

いつまでも復興交付金を頼りにしている訳にはいかない。(他の候補地とは違う事情・立場を示す)行政のストーリーを作り若者が夢を持てるような輝く街づくりを目指す!

経緯 10数年にわたる立法府での検討と議論がなされてきた。

現在 カジノを中心とする統合型リゾート施設(IR)整備推進法案を今国会で審議入りせず、秋の臨時国会以降に先送りする方針(2015.9.7)

特徴 税金を投入しない民設民営の開発事業である。(大きなビジネスチャンス)
(想定される大きな経済効果)税収増、雇用増、地域振興、観光振興、
これらがもたらす地域活性化

いわき経済同友会(IR)統合型観光リゾートの23名の回答アンケート(纏め)

1. いわきの人口の推移について
増える: 2名 現状維持: 6名 減少する: 15名
2. いわきの交流人口推移について
増える: 5名 現状維持: 7名 減少する: 11名
3. 上記1項及び2項のご意見を踏まえ、交流人口を増加させる為の具体的な施策
 - 1) 魅力ある施設をつくり、集中/誘致をはかる。
 - ・ (IR)統合型観光リゾート
⇒ホテル、カジノ、ショッピングモール、スタジアム多種多様の施設の建設
 - ・ 湯本温泉の活用
⇒ 統合型老人施設(病院と一体化)
 - ・ 大規模先進医療施設、安全を担保する研究施設
⇒ 産業クラスター化
 - ・ 今後の廃炉に向けた前進基.地と被災地現場という地の利をいかす。
⇒ コンベンション機能、宿泊機能の充実
⇒ 国際会議の主催(家族が同伴でき、楽しめる環境づくり)
⇒ ハワイアンズ、美しい花がみれるスペース
 - ・ 競輪場の活用
 - ・ 大企業
⇒ 観光だけでは交流人口増加に限界がある。観光と企業のバランスが必要。
 - ・ 政府機関
 - ・ 女子大学
 - ・ 市街地調整区域の見直し
 - ・ 土と触れ合う仕組み土との触れ合いが健康を維持する長寿の地域づくり
 - ・ 若者が安心して楽しめるまちづくり、若者が定着したいまちづくり
 - ・ 有能な専門家に丸投げせずに、地域でとことん協議する
 - ・ いわき観光まちづくりビューローを戦略的観光まちづくり組織(DMO)として機能するように再編し、マーケティングに基づく観光戦略を実施する
 - 2) いわきへ及びいわきからの交通アクセス改善
 - ・ 小名浜港湾利活用に向けた環境整備(客船、フェリーなど)
 - ・ 常磐線の全線開通促進
 - ・ 常磐道のいわき中央～岩沼間の片道2車線化促進
 - ・ 国道6号線の磯原～水戸までの片道2車線計画化
 - ・ 国道289号線の勿来～白河間75kmまでの片道2車線計画化
⇒いわき一那須間時短
 - ・ 水素燃料ステーションの整備(1,2か所)
⇒ 首都圏他の水素燃料車の利便性を向上させる
 - ・ 東京から1時間以内の高速鉄道
⇒ リニアモーターカー大都市からのアクセス時間を短縮する。
4. いわき市(福島県)への(IR)統合型観光リゾート誘致について
 - a. 誘致を推進すべきである……15人
 - ・ 福島空港の増便
⇒ 茨城空港は伸びている
 - ・ 観光資源の掘り起こし
 - ・ 被災地視察ツアー(津波・原発)⇒正しく恐れる
 - ・ 廃炉したところを世界文化遺産
 - ・ 海の観光資源
 - ・ 外国人観光客(インバウンド)を活用できる環境づくり
⇒ 表示の国際化
⇒ おもてなしの地域の方々の会話力アップ
⇒ いわきの魅力を伝える
 - b. 賛成だが実現不可能である…3人
 - ・ 活動主体がない
 - ・ 交通アクセスが悪い
 - ・ 我々が身銭を切るぐらいの覚悟がない
 - c. 基本的に反対である……3人
 - ・ 治安の悪化が想定される
 - ・ ギャンブル依存症
 - d. その他……2人
 - ・ 基本的に知識不足でわからない
 - ・ 箱モノではなく、超現実的な施策を考える
 - ・ カジノを前提にせず将来の可能性として検討しつつ実現可能なところから着手する必要があると思う。

統合型観光リゾートについての意見交換会（ワーキンググループ）

A～Eの
グループに
分れて
意見交換会



12月グループ会報告

第1グループ会

- 日時 12月4日(金曜日)
- 場所 雨情の宿 新つた

- * 新つたのお茶室にて、武藤副代表の緑天会の皆様による、お茶会を会員で体験してお茶の作法を教えてくださいました。お茶席の雰囲気感触日本の伝統を感じるひとときでした。
- * 今年活動を通しての意見交換会をし、美味しい料理を楽しみながら、和やかなグループ会となりました。

第2グループ会

- 日時 12月15日(火曜日)18:30～
- 場所 だいこん家

- 1) いわき経済同友会30周年取組み確認
 - ・30周年事業取組について答申し参加者の意見を聞く(目的の改正)
- 2) 情報交換(懇親)
 - 全員がノーネクタイもしくは上着をとり情報交換を実施した。
 - 活動の労をねぎらうと共に近況報告など情報交換を実施した。



第4グループ会

■日時 12月18日(金曜日)18:30~
 ■場所 磯勘 田町

創立30周年に向けて、同友会の方向性について会議
 冬場の移動例会の打ち合わせ及び忘年会

新入会員紹介



あお き ひと み
青木 仁三
 青木重機運輸株式会社
 代表取締役
 業種 / 一般貨物運輸業
 会社所在地 〒970-1147
 いわき市好間町大和字道内28
 趣味 / ゴルフ

12月14日

第2回臨時総会
 開催。議長に
 佐藤光代副代表幹事
 定足数確認後、
 小野賢司副代表幹事
 より説明があり
 平成28年度役員
 他、承認頂きました。

平成28年度
 いわき経済同友会
 役員

代表幹事	安島 浩				顧問	猪狩 正明 佐藤 敏雄				
副代表幹事	里見 潤	(第1グループ会・情報委員会)								
	松崎 総一郎	(第4グループ会・企画総務委員会)								
	武藤 眞一									
	長谷川 祐一	(第3グループ会・新産業育成促進研究会)								
	小野 賢司	(観光・IR)								
	佐藤 光代	(第2グループ会・例会委員会)								
(50音順)										
常任幹事	大和田 宏 柳田 雪美 寺主 君男									
・グループ会										
	グループ長	副グループ長								
第1グループ会	小松ひと美	猪狩 謙二	稲葉 広直	新妻 弘道	根本 克頼	宮野由美子	村田 裕之	吉田実貴人		
第2グループ会	小野 英典	坂本 和久	下窪 嗣文	竹谷 金浩	伴 健太郎	松崎 貴弘				
第3グループ会	山野辺浩良	阿部 好則	木部 浩行	根本 百代	松尾 幸治	吉村 義和	四ツ倉隆裕			
第4グループ会	吉田 嘉徳	國府田靖夫	齋藤 運弥	須藤新太郎	高原 繁美	館 勇男	塚本 英雄	根本 健一		
・プロジェクト										
	会長	副会長								
観光特区研究会	田子 英彦	鈴木 清友	鈴木 健寿	高原 繁美	竹下 康照	吉田実貴人				
社会資源活用研究会	里見 潤	小沼 郁互	野崎 裕康	吉田 泉						
新産業育成促進(原発廃炉・風評対策)研究会	長谷川祐一	田村慎太郎	新妻 弘道	山野辺浩良						
・委員会										
	委員長	副委員長								
企画総務委員会	鈴木 敏広	加藤 丈晋	佐久間一枝	高原 繁美	箱崎 洋一	村田 裕之	幸 英治			
情報委員会	坂本 和久	川崎 憲正	竹谷 金浩	田村慎太郎	山崎勇一郎	四ツ倉隆裕				
例会委員会	小沼 郁互	薄羽 裕一	小野 嘉子	鈴木 康弘	高萩 和義	田村 哲朗	新妻 弘道	松崎 貴弘	三室 啓記	
30周年実行委員会	寺主 君男	里見 潤	阿部 好則	猪狩 謙二	小松ひとみ	田子 英彦	吉田実貴人			
監事	平戸 康明 星 勝行									

1月グループ会案内

- 第1グループ会
1月26日(火) 18:30~ 場所 イタリアンコート
新入会員オリエンテーションをグループ
会員と一緒に開催する
- 第2グループ会
1月19日(火) 18:00~(予定)
場所 建設会館3階東会議室
研修内容検討 体系化検討 次年度計画摺合わせ
- 第3グループ会 未定
- 第4グループ会
1月23日(土) 18:30~ 場所 検討中
次年度移動例会の打ち合わせ

FMいわき「いわき経済同友会だより」
 【1月予定放送】

- ・1月 4日 観光特区研究会 小野 賢司様
- ・1月 11日 地域ブランド連携研究会 武藤 眞一様
- ・1月 18日 新産業育成促進研究会 長谷川祐一様
- ・1月 25日 小名浜港研究会 小沼 郁互様

◇毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)
 ※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、
 17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。
<http://www.simulradio.jp/>

2月通常例会 2月13日(土)

会場 パレス いわや 会費 5,000円

講師 法務大臣 参議院議員 岩城 光英先生

テーマ 「大震災後5年を迎える最近の政治情勢について」

18:30 ~ 例会
 19:00 ~ 講演会
 20:00 ~ 懇親会

**いわき経済同友会
 ご入会のお薦め**

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
 お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F 発行 いわき経済同友会 安島 浩代表幹事
 TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211 編集 情報委員会 委員長 田村慎太郎
<http://www.seaiwaki.jp> 副委員長 / 川崎憲正・坂本和久・四ツ倉隆裕
 E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp 馬場学・山崎勇一郎